年度 2007　学期 前期	曜日･校時　　金 2	必修選択　　選択	単位数　2
授業科目/(英語名)	経済と経営（日本の税制） Economics and Business (Tax System in Japan)		
対象年次　1･2年次	講義形態　講義	教室	
対象学生(クラス等)　全学部		科目分類　人文･社会科学科目	

担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー
担当教員: 栗原克文 /Eﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ: kuri05@nagasaki-u.ac.jp /研究室:経済学部本館 304 号室
/オフィスアワー:月曜 16:00-18:00。その他随時可(事前にEメールで予約すると確実)。

担当教員(オムニバス科目等)	

授業のねらい/授業方法（学習指導法）/授業到達目標

授業のねらい:

企業取引のグローバル化、少子高齢化をはじめとして、経済・社会の構造が大きく変容している現代において、税制のあり方についても多くの論点がある。そこで、日本の税制について、所得税、法人税、消費税、相続税などの基本的仕組みを理解するとともに、今日的な課題、問題点、考え方、あるべき姿を、裁判例や欧米諸国との比較も交えながら学習していく。

授業方法:

テキスト及び配布資料を中心として、主要な税の基礎的知識を学びつつ、税を身近なものと考え、問題意識が湧くように講義する。

授業到達目標:

税制の背後にある考え方を学び、日本の将来をどのように設計していくべきかについて、自らの問題として考えていく能力を身につける。

授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む)

授業内容(概要)

日本の税制（所得税、法人税、消費税、相続税など）について、基本的な仕組みとともに、今日的な課題、考え方、あるべき姿を、裁判例、欧米諸国との比較を含めて学習する。

第1回　総論
第2回　租税の基本原則
第3回　所得税(1)
第4回　所得税(2)
第5回　法人税(1)
第6回　法人税(2)
第7回　消費税(1)
第8回　消費税(2)
第 9 回　間接税
第 10 回　相続税
第 11 回　贈与税
第 12 回　国際課税(1)
第 13 回　国際課税(2)
第 14 回　まとめ
第 15 回　定期試験

キーワード	経済社会の変化と日本の税制
教科書･教材･参考書	（テキスト）「図説　日本の税制」平成 18 年度版　財経詳報社 （参考書）「日本が生まれ変わる税制改革」森信茂樹著　中央新書ラクレ 「税の負担はどうなるか」石弘光著　中公新書 その他参考資料は授業で指示又は配布する。
成績評価の方法･基準等	定期テスト(70%)、授業への貢献度及びレポート(30%)により評価する。
受講要件(履修条件)	特になし
本科目の位置づけ/学習･教育目標	経済社会の変容の中での税制のあり方、さらには今後の日本のあり方を考察する資質を身につける。
備考(準備学習等)	